

間の本来もつ道徳性にもとづくもので、その最高のものが仁である。孔子は大貴族、王族の立場にたつ人間であり、中小地主、農民の立場にたつ人間ではないのだから孔子は批判されるべきだと云う。つまり始皇帝の再評価したのを孔子の批判にもってきている

孔子の集団は当時は低いの人々であり、これを教育して国に仕える人材を養成した何故孔孟批判が行なわれているか。周恩来が日本記者団に語った所によるば、かつて周恩来が批判されて林彪の次には周恩来が失脚するのではないかとの想定が流れた時、周恩来は批判の対象でない事をのべ、林彪、劉少奇批判の徹底化であると云う。中国の組織体のキャップになる者には権力が集中してくる。権力者のもつ働きは非常に大きく、その人達のもつ、又は現わす言葉、概念は大きく、これ等の人が民主とか仁義、平和などと云う時は、言葉そのものが権力に密着して動き出す。吾々は民主、平和については誰も異議をさしはさまないけれども、それを使う使い方によりどの様にでもなる。しかも権力をもつ人により使われる事によりその力は一層大きくなる。

儒家のモラルとしてたてられた徳目、仁は愛であり、義は正義である。これが一度権力者に使われる事により非常な働きをもつ、いわば悪用される。権力をもつ者が利用する事を打破しなければならない。孔子の徳目を権力に結びつけるものであるとされた。人間のもつ道徳と組織の規制(法)とのからみ合いをどの様にして解決するかの問題となる。これが新しい中国がこれから生成発展してゆく上に悩みつけてゆく事ではないかと思われる。あくまでも中国に於ける政治、機構、組織が権力集中による弊害を除去する為に思想運動が行なわれているのではないかと思われる。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
49. 1. 23	56名	33名	23名		
49. 1. 16	56名	34名	22名	17名	91.07%
在函クラブ	(1/8) 函館東R.C. 99.01%	(1/9) 函館R.C. 96.00%	(1/10) 函館五稜郭R.C. 100%		

◎第482回例会欠席者

大嶋、本間(利)、岩塚、杉本、川筋、平野、戸栗、山本、高杉、小笠原、成沢、佐々木、沢村、柴田、渡部、佐藤、平山、山崎(尚)、大江、石橋、山崎(幸)、山矢、成田
(23名敬称略)

次回例会日 2月6日

プログラム「冬と私達の命」深瀬会員

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所
函館市大手町5-10
日魯ビル 3階
☎(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10
国際ホテル ☎(0138)23-8751
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

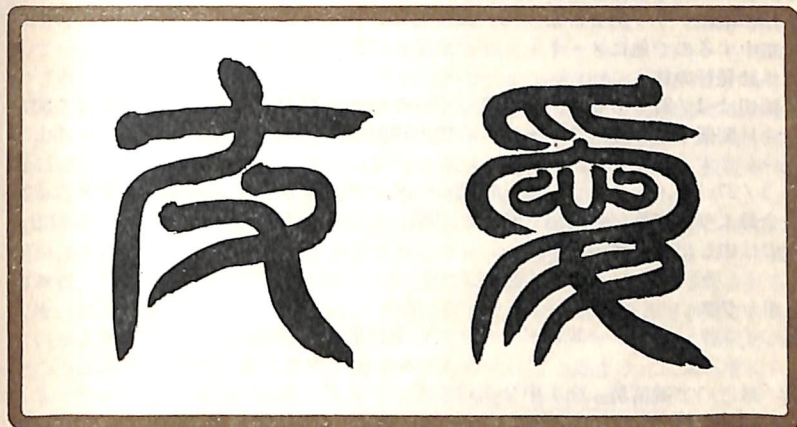
1974. 1. 30

第484回 例会

1973~1974 第30号

‘A Time for Action’ 今こそ行動のとき

(William C. Carter R.I. 会長指針)



友愛 戸崎孝二会員

本日のプログラム

「冬と私達の命」深瀬会員

第483回例会記録

- ◎司 会 駒井 幸一 会長
◎齊 唱 手に手つないで
- ◎ゲ ス ト 函 館R.C. 大森 恒彦君
吉井会員ゲスト 堀内 彰君・北川壮一郎君
函 館R.C. 桜井二三彦君・庄子 正治君・坂本 運平君・植松 敏夫君・川端 久雄君・小野 俊男君・外山 健吉君・吉野谷正徳君・榎本二三男君・池田 佑吉君・ほぞじゅんじ君・鈴木 意雄君・棟方 忠君
函 館 東R.C. 山中 一君・小泉 新一君・中沢 竹也君・原田 嘉

市君・田辺 和夫君

函館五稜郭R.C. 木村 和己君・島田 良雄君

亀 田R.C. 川井 清彦君・工藤 隆司君

◎幹事報告

- 1、2/8函館五稜郭R.C. 2月8日の例会は留学生アスワン氏(ガーナ共和国)を迎へ親善夜間例会を開く為6時に変更。ビクター料¥1,500-
- 2、在函5クラブ幹事会審議事項
2/23R Y 69周年合同夜間例会の打合せ。~函館北クラブは会場S.A.A. を担当する。各クラブの会報委員会は録音を採らず自由に感想文を書き会報にのせる。
2/18の亀田クラブ例会日より 2/22の五稜郭クラブの例会まで全部23日の合同例会に集中するので他にメーカーが出来ないで御注意の程を一。
- 3、十周年誌発行の件
原稿締切は1/31であるが、未だ集っていないので早急に提出していただきたい。又、4月開催予定の分区フォーラムの提出議題が未だ出されていないのでよろしく願います。
- 4、去る1/27(日)インターローター親睦ボーリング大会が開催され盛會に終えた。
- 5、山矢会員より故御尊父の遺稿「歴史と川柳」と云う本を20部いただいているので、希望者は申し出て下さい。

◎ニコニコボックス

戸崎会員 インターローター親睦ボーリング大会に於て優勝したことを祝つて

◎卓 話「最近の金融情勢」商工中金函館支店 大森 恒信氏

最近の物不足や物価高は何が原因で生じたかと云うと、総需要の増大による需給のアンバランス即ち景気のオーバーヒートによるものと考えられ、これを抑える目的一総需要抑制策として金融引締め策が採られて来たが、これは第1に公定歩合の引上げ、第2に銀行の窓口規制、第3は預金準備率の引き上げであり、更に昨年の始めより施行された選別融資指導等の諸施策である。公定歩合は一年間5回に渉りトータル4.75%upし、年末にはついに9%の高水準に達した。従って銀行金利もその都度上り高金利時代を迎へるに至っている。窓口規制は昨年の3月から始まり、四半期毎にきびしく引締められて来た。即ち各四半期毎に貸出額を減ずる方式で行なわれ、第一四半期には前年比18%第二四半期は32%、第三四半期は43%に達した。昨年の引締め策の特色は都市銀行は云うに及ばず、地方銀行・相互銀行・信用金庫及び農協系の金融機関にまで及び、殆んどの主たる金融機関に及んだ点である。預金準備率の引上げについては48年1月より今年まで5回に渉り引上げられ、この間に1兆2千億円もの額が日銀に吸上げられたのである。

又、新規に採用された金融政策である選別融資規制は業種別用途別に融資規制を行なうもので、不動産業や商社関連の融資は抑えられ、又便途では土地に対する投資及び設備投資資金は規制されている。この様な長期にわたりしかも全面的で且つきびしい金融引締め策はかつてなかったことである。昨年10月末頃には幾分効果が現われ始めたが11月の中東紛争による石油問題で大きく効果がそがれ、物価安定の効果は全然現われなかったのは御承知の通りである。銀行貸出の増加率を見ると昭和47年度23~25%、同48年

度4月25%、48年度末18%となっている。函館市圏の場合は昨年第3四半期で前年比66%つまり47年度同期に比して34%減となっており、これは全国平均に比べると大分ゆるやかな数字が出ている。各企業は手持資金が底をついて来ており、預金を取りくづして使い始めている。これを証明しているのは企業の手元流動性(月商に対する手持現金及び預金)が48年3月1.22ヶ月分、6月1.16ヶ月、9月1.04ヶ月、12月1ヶ月、3月0.93ヶ月(予想)の如くどんどん低下して来ている現象である。

金融市場では流動性がヒツパクしかつコールレートの上昇が見られ、市場の流動性不足がその尽企業の資金不足となって現れている。昨年前半期に於ては企業間に資金がダブつており、金融市場の資金が不足がその尽影響することがなかったが、現在では余剰資金は吸い上げられせ殆んど残っていないと見られている。又金利も日銀の12月末の引上げ(2%)幅が大きかったので各銀行も金利引上げを行ない、金融状況は最悪となっている。かかる状況下で3月企業危機説がとえられており、又4~6月危機説もあいつれにしても苦しい時期がだんだん先にのびている様である。政府の方も中小企業特に電力、石油不足により甚大な影響をうけている企業に対しては緊急融資制度を打出しており、又各地方自治体に於ても考慮されておる。現在の様な物価の上昇が続けば預金は妙味ないものになるので、政府は抽せん附定期預金を考へており、最低単位一万円で当れば1千万円になる宝くじ預金を実現する見通しである。

49年度の景気予想は強気説、弱気説いろいろあるが、私共の予想では現在のインフレ傾向はまだ当分つづくものの、やがて需給かん和の状態が出現し、その後には企業の在庫調整、操業短縮による生産調整によりデフレ現象が生ずるものと予想される。即ち夏以後には金融も除々にカンワされ、下期に於ては多少景気刺激策が講じられるのではないと思われる。資金需要は高物価によるコストアップの増加分や操短等の後向き資金の増加等で当面運転資金需要は増大するものの、下半期までには落ち着くものと思われる一方設備資金需要は企業サイドでは設備投資するものは殆んどなく、従って資金需要もないであろう。当地函館圏では、一般に全日本的な経済変動の波をかぶることが少いと云われるが、それは総出荷高の $\frac{1}{3}$ が造船であり、又 $\frac{1}{3}$ が水産関係の食品であり、他の $\frac{1}{3}$ がその他と云うことで造船は函館ドックが沢山の受注残を抱え相変らず強気に推移し水産関係の食品は好不景の波をモロにかぶることが少いと云う業態に依るものである。その他の中で主なものもは敗政投融資と観光であるが、前者は前年繰越残と本年減少分を相殺すれば例年並であり、観光がバス等の燃料の問題で多少影響をこうむると思われるが、全体として見れば函館圏に於ては49年に於てもまあ前年並みの水準が保たれるものと予想される。

★各インターアクト・ローターアクト委員長殿

亀田R.C. 星野 幸男

インターアクト・ローターアクト委員会の今年度の活動計画であります。両クラブの合同交歓会が1月27日(日曜日)午前10時より市内昭和町のダイヤボーリングセンターでボーリング大会として行なわれました。交歓会には、インタークラブ員8名、ロータークラブ員3名、ロータリアン9名の参加で行なわれ、楽しい一時を過ぎました事を御報告申し上げます。尚、ゲームの結果は下記の通りで御座居ます。

記

優 勝	戸崎(北クラブ)	5 3 7
準優勝	岩坂(ロータークラブ)	4 9 3

三 位 廉沢 (インタークラブ) 4 8 7
 四 位 新居 (インタークラブ) 4 8 6
 五 位 柔島 (インタークラブ) 4 7 5
 H G 新居 (インタークラブ) 2 1 5
 B B 大庭 (インタークラブ) (敬称略)

★新会員紹介

会員名 西口 武司 昭和7年1月2日生
 自宅住所 函館市浜町2丁目12番19号 TEL 41-2391
 職業分類 木材防腐 勤務先 岩崎産業(株)函館支店 役職名 支店長兼工場長
 勤務先住所 函館市浜町2丁目12番19号 TEL 41-5279
 学歴 大阪初芝商業高校卒
 経歴 岩崎産業(株)入社 重富防腐工場勤務
 鹿児島支店木材部
 宮崎県細島工場勤務
 48. 9 函館支店勤務
 43. 日向木青連に入会
 ローターリー経歴なし
 趣味 つり・野球・ゴルフ練習中
 結婚年月日 昭和37年12月2日
 家族 妻 西口けい子 昭和12年10月10日生
 長女 西口 和子 昭和38年10月14日生
 長男 西口 誠一 昭和40年12月16日生



◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
	56名	33名	23名	16名	87.50%
在函クラブ	(1/15) 函館東R.C. 祝日休会		函館R.C. 96.06%	(1/18) 函館五稜郭R.C. 100%	

★第483回例会欠席者

小林・杉本・川筋・椎谷・山内(文)・佐々木・平山・西巻・西口・岩塚・小笠原・大井
 (12名敬称略)

次回例会日 2月6日

プログラム「金融あれこれ」山崎会員

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所 函館市大手町5-10 例会場 函館市大手町5-10
 日魯ビル 3階 国際ホテル ☎(0138)23-8751
 ☎(0138)23-3870 例会日 毎週水曜日 12:30-13:30



1974. 2. 13

第485回例会

1973~1974 第31号

‘A Time for Action’ 今こそ行動のとき
 (William C. Carter R.I. 会長指針)



友慶 戸崎孝二 会員

本日のプログラム

「今年の株式観」 函館証券株式会社・社長
 大坂谷 道三氏

第484回例会記録

- ◎司 会 駒井 幸一 会長
 ◎ビジター 釧 路 北R.C. 齊藤 誠一君
 函 館R.C. 石黒 隆君 他11名
 函 館 東R.C. 寺西 久遠君 他4名
 函館五稜郭R.C. 市村 稔君 他3名
 亀 田R.C. 竹内寿五郎君
 ◎会長報告

当クラブの例会場であります国際ホテルより、食事代を現在の550円を100円値上げ